

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ビーナスキッズみくにがおか		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 1日 ～ 2025年 9月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 9月 1日 ～ 2025年 9月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 10月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童や保護者様のニーズを常に把握することでより専門的な療育ができる。	送迎児童が少ないので保護者様に毎回担当者からのフィードバックができる。児童や保護者様との対話を細かくすることでタイムリーにニーズを聞いたり児童の様子を共有するように心かけている。	対話だけではなくラインや電話を駆使して直接会えなくてもニーズの把握はしている。
2	コースが3つあることで個々のニーズに合ったより幅の広い療育の展開ができる。	コース別に療育の目的を共有することでひとりひとりに合ったコースを選択してもらう。	現状3つのコースを展開しているが、様々な角度から考え、新設コースの検討は常にしている。
3	活動プログラムが月単位、週単位、で変化しているので飽きのこない療育を提供することができる。	児童が楽しく通えるように変化のある繰り返しを実施し定着を図っている。指導力を養うための研修・研究授業・模擬授業は常に取り組んでいる。	より良い方法がないか指導方法や教材の研究に取り組んでいる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNSの活用が定期的でなく活動の様子が不透明と感じられる面がある。	HPIは定期的に更新しているが、インスタグラムの更新が定着していない。	サービス提供時間内に活動の様子を写真に撮り、それ以外の時間で更新する。また担当者を決めて更新していく。
2	家族参加型のプログラムが少ない。	以前は授業参観や親子体操教室を開催していたが、この数年できない期間が続いて家族参加の行事がなくなってしまった。	祝日など利用して家族参加型イベント等を開催し、地域に開かれた事業所を目指していく。
3	集団療育を実施できる人材育成が難しい。	定期的な研修は実施しているが、習得状況に個人差が出てくるので個々に合った研修も必要となる。	より具体的に細分化した研修を必要な時期に取り入れる。全体での研修と個々での研修を実施していく。